

## 経営改善部門

### 石川県白山市 有限会社安井ファーム

代表取締役：安井 <sup>やすい</sup>善成 <sup>よしなり</sup>氏

作付面積：112ha（ブロッコリー59ha、水稲33ha、大豆15ha、その他野菜5ha）



#### <取組概要>

基盤整備された大区画水田を利用した大規模水稲経営が営まれている地域において、いち早く水田経営の複合化に取り組み、規模拡大と通年雇用を展開。秋・冬期間の水田を活用してブロッコリーを栽培し、水田園芸による水田フル活用を実現。

地域において土地利用型農業が盛んで空き農地が無い中、秋・冬期間の水田を期間限定で借り受け、ブロッコリーの栽培を開始。水稲・麦・大豆と同様に省力・低コスト化を図るため、機械整備を整えたことで栽培面積を大幅に拡大（2003年：0.2ha、2009年：40ha、2017年：59ha）。

湿田や積雪など悪条件の下、越冬・春・秋作の3作型で年間9か月ブロッコリーを出荷。複数の種苗メーカーから新品種を取り寄せて作型別の導入試験のほか、暗渠による排水対策を講じることで課題を克服し、安定出荷を実現。

グローバルGAPの考え方をもとに、生産から販売までの工程管理を徹底。ITツールも活用し、圃場・作目別の収量・品質、栽培履歴、販売実績等の情報を全社員で記録・共有。

大手自動車会社で勤務した経験を持つ代表は、「社員を幸せにしなければお客様の満足（幸せ）は実現しない」と考え、秀品率や収穫率などの目標に対する達成度を客観的に評価し、賞与として還元。定期的にデータをもとに結果を振り返り、課題を抽出して栽培管理や作業方法を改善。